個人情報の取り扱いについて

１．はじめに

この文書は、東洋アルミニウム株式会社（以下「当社」）の内部通報制度窓口「トーヤルホットライン」（以下「ホットライン」）における個人情報の取り扱いについて定めたものです。

このホットラインは、会社に影響を与える不正などの問題を事前に把握し、健全な経営を行うために設けられています。同時に当社では、このホットラインに寄せられた個人情報の保護に対して大きな関心を持ち、最大限、ホットラインでの個人情報の保護に努めます。

２．定義

「ホットライン」…本内部通報制度窓口

「通報」…ホットラインに登録された内部通報であり、当社が受領したもの

「個人情報」…ホットラインに登録された通報に記載された情報であり、個人を特定することができる情報

「通報対象事象」…通報において当社に通知される事象

「通報者」…ホットラインにおいて通報を行う人物

「被通報者」…通報対象事象の行為者等の、通報内でその通報の対象となった人物

「通報関係者」…通報内において言及された人物・組織

「データ管理者」…個人情報の取り扱いに主たる責任を持ち、その処理の方法や方針を決定するもの

「データ処理者」…データ管理者に代わって、データ管理者の指示のもと実際にデータを収集・保存・処理するもの

「センシティブデータ」…各国法における、第三者に知られた場合に個人の人格に重大な影響を与える可能性のある個人情報であって、人種または民族的な出自、政治的・宗教的・哲学的信条、労働組合への加盟、遺伝・生体情報、健康、性生活などを含む、各国が定める個人情報

３．個人情報を取り扱う根拠法

ホットラインにおける個人情報の処理は、各国の定める個人情報保護法に準拠した上で、企業内の不正行為等を調査・是正するための、データ管理者の正当な利益に基づきます。

４．同意について

このホットラインを実名で利用するためには、本文書記載の当社の個人情報保護方針に基づく自身の個人情報の処理に対する同意が必要です。

ただし、同意できないことを理由に実名での通報を行わず、それによって当社等に何らかの悪影響があったとしても、その事実に基づく処罰や不利益取り扱いは一切ありません。

また、このホットラインは氏名等の個人情報を提供せず、匿名で利用することも可能です。

５．このホットラインの管轄組織

このホットラインを運用する当事者は以下の通りです。

５－１．ホットライン設置者

東洋アルミニウム株式会社

５－２．管轄部門

東洋アルミニウム株式会社
コンプライアンス相談室
住所：大阪市中央区久太郎町三丁目６番８号　JRE 御堂筋ダイワビル
連絡先：soudan-line@toyal.co.jp

東洋アルミニウム株式会社はデータ管理者として、ホットラインにおける個人情報の取り扱いについて責任を負い、その方針や保護施策を決定し、実行する立場となります。

５－３．運用者

株式会社ディー・クエスト
住所：東京都千代田区神田駿河台 3-4　龍名館本店ビル

ディー・クエストはデータ処理者として、東洋アルミニウム株式会社の代わりにホットラインのシステムを保守・運用し、翻訳などの処理を行います。

６．個人情報の処理

６－１．個人情報を処理する法的根拠

当社は不正等のコンプライアンスに反する行為を事前に察知し、これに迅速に対応することで健全な経営を行うという雇用者の正当な利益として、各国の個人情報保護法に基づき、ホットラインにおける個人情報の収集を行います。

６－２．個人情報処理の目的

このホットラインに登録された個人情報は、当社における不正等に対する社内調査を実行するために処理されます。また、各国当局の要請に基づき、報告等を行うために処理されることもあります。

６－３．処理される個人情報の種類

このホットラインでは、以下のような個人情報が扱われます。個人情報はホットライン WEB サイト上でのみ収集・処理され、その他のツールや方法によって行われることはありません。

- 氏名
- 所属部署
- 職制
- 連絡先
- 所属会社
- 合理的に必要な場合のみ、センシティブデータ
- 被通報者の上記の情報
- 通報関係者の上記の情報
- その他通報で言及される可能性のある個人の情報

６－４．処理の方法

このホットラインに寄せられた個人情報は、以下のような処理が行われます。

- 通報内容の日本語への翻訳
- 社内調査・共有時の仮名化
- 調査結果の報告書類作成

６－５．処理が実施される場所

日本国において処理が実施されます。

６－６．処理期間

通報対象事象の調査・対応の完了までに必要な範囲で合理的な期間、処理されます。

６－７．個人情報が越境される国

個人情報は、当社日本本社が所在する日本国に越境されます。

７．個人情報の管理

７－１．保存期間

各国法の定める期間を超えない範囲において、通報対象事象の対応に必要で合理的な期間、個人情報は保存されます。

７－２．保存場所

個人情報が保存されるサーバーは日本国に所在します。また、EU（欧州連合）および英国を含む欧州各国からの通報はフランス共和国のサーバーに、北米大陸・南米大陸の各国からの通報はアメリカ合衆国のサーバーに一次保存され、その後日本サーバーにも転送・保存されます。

７－３．個人情報の共有

通報への調査のために、関係するグループ企業や、必要に応じて事業支援ユニットやコンプライアンス担当役員に個人情報が共有されることがあります。
また、調査を目的として、外部法律事務所に個人情報を開示することがあります。

７－４．個人情報の越境の目的

個人情報は、当社の日本本社による通報対象事象の調査のために日本国へ越境されます。
また、日本国以外の国に情報が越境されることはなく、日本国から別の国へ移転されることもありません。

７－５．第三者への提供

ホットラインの個人情報は、原則として外部の企業等に譲渡・売却されることはありません。ただし、以下の場合には個人情報が外部に提供されることがあります。

- 各国当局の要請に基づく、裁判所など各国公的機関への提供
- 通報対象事象の調査のための、当社顧問弁護士や提携先法律事務所への提供

８．個人情報保護に関する権利

８－１．権利の一覧

ホットラインに関係するすべての個人は、以下のような権利が法的に与えられています。

- 処理されている自身の個人情報にアクセスする権利
- 自身の情報に誤りがある場合、これを訂正・削除する権利
- 自身の情報の処理が重大な悪影響をもたらす場合に、これを削除する権利、もしくはその処理を制限・停止する権利
- 自身の情報を複製する権利
- 自身の情報の保護を要求する権利
- 個人情報の処理に異議を申し立てる権利
- 同意を撤回する権利
- 構造化された、一般的に使用され、読み取り可能な形式で自身の情報を受け取る権利、およびその情報を他のデータ管理者に転送する権利
- これら権利の行使によって差別されない権利

８－２．被通報者の権利の制限

通報者の個人情報を保護し、その心身への危険を予防するため、たとえ通報者が自身の身元を明かしていたとしても、被通報者は、通報内容や通報者の個人情報にアクセスすることはできません。また、自身が被通報者であるかどうかを確認することはできません。

８－３．権利の行使

上記の権利を行使する場合、「５－２．管轄部門」に記載された連絡先にご連絡ください。その際、権利の行使に必要な個人情報を提供いただくことがあり、その個人情報の取り扱いもこの文書に準じます。

９．処理に関する望ましくない潜在的な結果や損害

この窓口の利用にあたっては、十分にセキュリティや運用ルールを導入しておりますが、以下のような潜在的な望ましくない結果が発生する可能性があります。

- 災害や感染症による、事前の予告なしでの窓口の一時閉鎖
- システム障害によるアクセス不全
- 会社やステークホルダー、社会に深刻な悪影響を及ぼす事案に関する、通報者の意図しない大規模調査や当局・報道機関等への事実開示（ただし個人情報は含みません）

１０．COOKIE について

ホットラインの WEB サイトでは Cookie が使われています。

Cookie とは、利用者の端末とサーバーとの間で交わされる少量のテキストデータのことです。このホットラインでは、通信に必要なセッション ID のみを扱う必須 Cookie が使われており、この Cookie で収集された情報はセッションを超えて保存されることはありません。セッションの終了とともに、収集された Cookie は自動的に消去されます。

１１．匿名での通報について

このホットラインでは、匿名での通報が可能です。ただし、匿名のままでは調査が十分にできず、問題の解決が図れないことがありますので、なるべく実名での通報にご協力ください。

１２．各国法への対応

このホットラインでは、各国の個人情報保護法のほか、内部通報者を保護する法がある場合にはそうした法にも適用しています。

１３．この文書の変更について

この文書は予告なく変更されることがあります。変更後も引き続きホットラインを利用いただいた場合は、変更された内容に同意したものとみなします。

１４．更新情報

2023 年 4 月 1 日	初版発行